

おおわだしょうがっこう 大和田小学校

所在地	〒555-0032 西淀川区大和田4丁目3番24号
電話	06-6472-0121
HPアドレス	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e631365
校長名	北村 治彦
児童数・学級数	350名・18学級（特別支援学級6）
標準服	あり



学校概要

本校は、明治7年6月に「西成郡第6大区5小区第7番小学校」として創立された歴史と伝統ある学校です。校内には大和田城址の碑があり、見学に来られる人がたくさんいます。地域の皆様は、大和田の子を何より大切に考え、慈しんでこられました。本年6月に創立150周年を迎え、地域の皆様と一しょに記念式典をとりおこないました。

近年は学力の向上をめざし、学習規律の定着、学ぶ環境作りに努めています。人権教育、多文化共生教育、英語の学習やICTを活用した学習にも力を入れています。広い運動場を活用し、子ども達の体力の向上にも力を注いでいます。また、学校司書による図書館開放、芝生実行委員会による芝生広場の手入れなど、保護者や地域のみなさまに学校教育に参画していただく手だてを進めています。何より、地域、PTAの活動が大阪で最も盛んな学校の一つです。

校訓

「清く」「正しく」「明るく」

沿革

明治 7年 6月	西成郡第6大区5小区第7番小学校として創立
大正 14年 4月	大阪市大和田尋常高等小学校と改称
昭和 19年 20年	香川県・島根県へ学童疎開
昭和 25年 4月	児童の完全給食実施
昭和 39年 3月	プール完成
昭和 42年 4月	大阪市立大和田小学校と改称
昭和 49年 9月	創立100周年記念式典挙行
昭和 59年 7月	講堂兼体育館・プール完成
平成 18年 9月	新西校舎竣工式
平成 25年 9月	英語教育重点校事業開始
平成 28年 4月	ICT活用事業モデル校研究開始
平成 31年 4月	ICT活用事業拠点校として研究継続
令和 6年 6月	創立150周年記念式典挙行

学校行事（令和6年度）

4月	入学式 学習参観・懇談会・家庭訪問
5月	春の遠足
6月	避難訓練・引き渡し訓練（津波） プール水泳指導 創立150周年記念式典記念行事 なかよしフェスティバル
7月	着衣水泳 個人懇談
9月	避難訓練（風水害） 学校公開・学校選択制説明会 修学旅行
10月	運動会
11月	作品展 秋の遠足
12月	個人懇談
2月	クラブ見学
3月	卒業式 修了式

研究主題

できた！楽しい！が実現できる
算数科の授業づくり
（第1年次）

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

安全・安心な教育環境の実現

いのちを最優先した教育を根幹とする。

- 児童の安全・安心においての問題について、関係機関との早期の連携を図る。
- 学校組織として、いじめや問題行動を生まない学校づくりをすすめる。
- 学校保健委員会を開催し、健康に対する意識の高揚をすすめる。
- 給食の安全な運用を行い、健全な食生活の確立に向けて食育を進める。
- 地域と協働した防災・減災教育を実施する。

豊かな心の育成

学校へ行くのが楽しいと思う児童を育む。

- 安心して学校生活を送れる学級経営を目指す。
- 道徳教育の推進をすすめていく。

- 多文化共生や人権を尊重する教育を推進する。
- たてわりやクラブ活動など異学年交流を進めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

誰一人取り残さない学力の向上

- 授業の基本となる学習規律・生活規律の確立をはかる。
- 学力向上をはかる（わかりやすい授業の追及）。
 - ・専科授業（理科・体育・算数・外国語）
- 教職員の指導力の向上をはかる。
 - ・全教員が、授業研究を伴う研究協議会を行い、授業力の向上をはかる。
 - ・メンターを活用した若手教員の育成をすすめる。
 - ・専門的な講師の招聘や先進的な教育実践の視察をすすめる。
- 主体的・対話的で深い学びの推進を行う。

- 外国語（英語）教育の推進。
 - ・フォニックスの継続、C-Net の活用
 - 読書活動の推進をすすめる。
 - ・学校図書館の運営へのボランティア参画、図書館・学級文庫の充実。
- 健やかな体の育成**
- 運動に取り組むことが好きな児童の育成をすすめる。
 - 体力の向上を図る。

【学びを支える教育環境の充実】

ICT 機器の活用

- ICT を活用して学力・体力の向上を図る。
 - ・協働学習や個別学習などの充実をめざし、授業の質の向上をはかる。

- ・児童が家庭で ICT 機器を活用したり、プログラミング的思考を発揮できる力を育てる。

教職員の働き方改革を推進する

- 教職員の心身の健康を大切にし、児童と向き合う時間や環境の整備をすすめる。
 - ・長時間勤務のない体制の構築を図る。
 - ・専科教員やSSS、スクリーニング及びワークライフバランス支援サポーター等の活用を進める。

家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

- 読書活動の推進をすすめる。
 - ・学校図書館の運営への学校司書、ボランティア参画、図書室・学級文庫の充実。
- 学校協議会の活用を進める。
 - ・PTAや地域の人材の活用を進める。

◆全国学力・学習状況調査 令和5年度の調査結果

国語	算数
62	56

結果概要等

令和4年度は、国語科において平均正答率が大阪市には11%、全国には12.6%及ばなかった。令和5年度は、全国比—5.2差まで回復した。算数科においては令和4年度、大阪市には13%、全国には14.2%及ばなかった。令和5年度は、全国比—6.5差まで回復した。平均無解答率は国語科、算数科ともに、やはり、全国、大阪市よりも高く、前年度の成果が生かし切れていない状況が引き続き読み取れる。また、本校は、令和5年度まで国語科研究に4年間取り組み続け、学習の要である「自分の考えをもち、表現する。」という最終課題を共有し、授業改善に努めてきた。現時点では学力調査の結果に十分表れるまでには至っていないが、引き続き、児童の学力の根底にある「自分の考えを持つこと。」「自分の考えを表現すること。」を重要視した取り組みを進めていく。

◆全国体力・運動能力、運動習慣調査 令和5年度の調査結果

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
男子	18.50	18.06	32.42	37.94	46.61	9.11	158.72	22.00	53.58
女子	17.33	17.70	38.33	37.41	35.11	9.80	147.56	14.22	54.78

結果概要等

男子は、8種目中5種目（「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」「50m走」）で全国、大阪市を上回り、女子は4種目（「握力」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」）が全国、大阪市を上回る結果となった。体力合計点でも大阪市や全国平均を上回り、めざましい体力向上を達成できている。

！今年度の取り組み

本校は、子ども達の中に「自己肯定感」を育てる教育を根幹として、学校運営を行っている。「わたしにはこんな力がある。」「わたしは、必要な存在である。」「わたしは、大切にされている。」と自分を認め、自分の存在価値に気付かせることが重要であると考えている。年間を通じ、多くの場面で異年齢集団のたてわり班活動を行い、助け合い、学び合い、協働性を高めます。年上の学年が良き手本となり、年下の学年のあこがれの存在となることが、自尊感情を育むとともに、相手を思いやる心を育てます。今年度も引き続き、このたてわりの考え方を大切にし、幼小中の交流も進めていく。

自己肯定感を高めるために最も大切な点は、生活や学習の規律である。あいさつをしたり、学校や家庭のきまりを守ったりといった生活面での規律を身に付けることを基本として指導している。学習では、自分の思いや考えをはっきり話す、きちんとした言葉づかいで話す、友達の意見をしっかり聞く等の、学習中に守るべき規律を身に付けるように指導している。さらに、本校では未来を担う子どもたちに育成すべき資質・能力に焦点を当て、「何を知っているか」「知っていることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の3点を踏まえたカリキュラムを作成して取り組んでいる。

さらに、読書の習慣を身に付けさせることも進めており、図書館の蔵書数を増やし、学級文庫に新しい本をそろえたり、読書の時間を確保したりしている。学校司書やボランティアの方とも連携して、読書の楽しさを子どもたちに広げている。平成28年度から、ICT活用事業モデル校として、また、令和元年度からは、ICT拠点校として、タブレット端末や大型モニター、デジタル教科書等を使った授業を実践し、西淀川区の学校をICTでリードしている。加えて、令和2年度より始まったプログラミング教育や情報活用能力の育成にも力を注いでいる。

そして、本校には11か国の外国にルーツをもつ児童が在籍している。こうした外国にルーツをもつ児童に対しても、保護者の協力を得、自尊感情を高め、日本人児童も含めた豊かな多文化共生教育を実践できるように、教職員研修や多文化共生教育の取り組みを通した「ちがいを豊かさ」にする人権教育を実践している。

また、本校は学制発布の3年目に開校し、今年度創立150周年を迎えた歴史ある伝統校である。このため、地域、PTAよく連携して活性化しており、豊かな学校教育の確かな土台となっている。こうした本校の強みを生かし、児童が将来に渡り、豊かに自己実現できる学校として発展を続けている。

最後に、学力課題については根本的な対策を実施している。特に、算数研究の1年目の本年度は、「算数を楽しめる力」に完全に焦点化し、「楽しい!」と思える算数科授業づくりを目標として、教職員研修・研究活動を充実させ、確かな学力の形成を目指している。